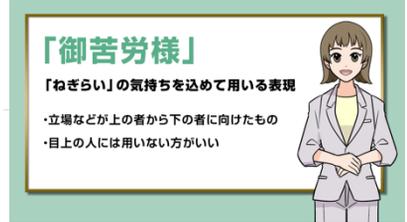
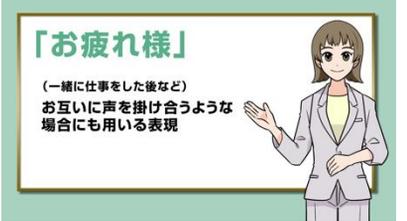
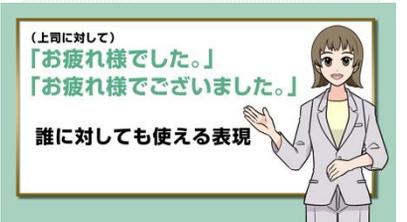
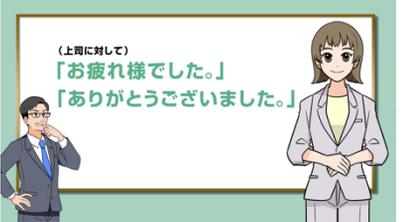
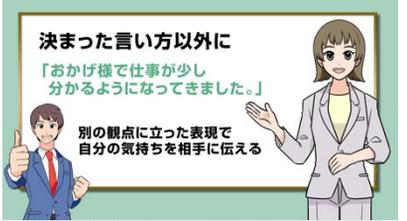


Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 01		
C 02		<p>【事例】 遅い時間まで上司と部下が仕事をしている</p> <p>上司 「よし、もう少しだ。がんばろう！ この書類を仕上げてくださいませんか。」</p> <p>部下 「はい、承知いたしました。」</p>
C 03		<p>仕事が終わって</p> <p>上司 「よし、終わった！御苦労様。 じゃあ先に帰るよ。」</p>
C 04		<p>部下 「はい、御苦労様でした！」</p>
C 05		<p>上司 「御苦労様はないだろう。あはは。 明日もよろしく！」</p>
C 06		<p>部下（心の声） 「あれ？！何か言い間違えたかな？」</p>
C 07		<p>えええ」</p>
C 08		<p>【解説】</p> <p>[ナビゲーター] いかがですか？ 「御苦労様」という言葉を使ったことに問題がありそうですね。 ではどのような言葉を使ったらよかったのでしょうか。</p>

Cut No.	PICTURE	DIALOGUE & SOUND
C 09		<p>「御苦労様」は、基本的には自分側のために仕事をしてくれた人、例えば、配達をしてくれた店員などに対して、「ねぎらい」の気持ちを込めて用いる表現です。</p>
C 10		<p>ねぎらいは、立場などが上の者から下の者に向けたものであり、目上の人に対しては、「御苦労様でした」を用いない方がよいでしょう。</p>
C 11		<p>これに対して、「お疲れ様」は、「ねぎらい」の気持ちを込めても使われますが、一緒に仕事をした後など、お互いに声を掛け合うような場合にも用いる表現です。</p>
C 12		<p>そのような状況なら、「お疲れ様」ではなく、「お疲れ様でした」、「お疲れ様ございました」といった丁寧な言い方であれば、誰に対しても使える表現であり、上司に対して使っても問題ありません。</p>
C 13		<p>一緒に書類作成に追われていた上司に対しては、「お疲れ様でした」と気持ちを込めて言ったり、「ありがとうございました。」と感謝の気持ちを表現したりすればよいでしょう。</p>
C 14		<p>上司（「御苦労様。じゃあ先に帰るよ。」） 部下 「（気持ちを込めた言い方で）お疲れ様でした。」</p>
C 15		<p>上司（「御苦労様。じゃあ先に帰るよ。」） 部下 「ありがとうございました。」</p>
C 16		<p>また、このような決まった言い方ではなく、例えば「おかげ様で仕事が少し分かるようになってきました。」など、別の観点に立った表現を使うことで、上手に自分の気持ちを伝えることも考えてみましょう。</p>